

# 春季火災予防運動

## (令和8年3月1日～7日)

回覧

### 全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

春季火災予防運動は、火災が発生しやすい時季にあわせ、火災予防意識を高め、火災による被害を防ぐことを目的として実施しています。

今一度、下記の点に注意し、火災から生命と財産を守りましょう



### 【住宅防火 いのちを守る 10のポイント】

#### 4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

#### 6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
5. 高齢者や身体の不自由な方は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

# 地震のあとが、いちばん危ない

～感震ブレーカーで「通電火災」を防ぎましょう～

## 通電火災って？

大きな地震のあと停電から復旧した時に、  
倒れたストーブや傷んだ配線から出火する火災です。



## 感震ブレーカーとは？

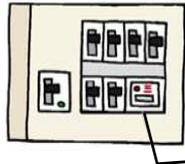
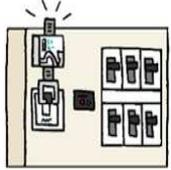
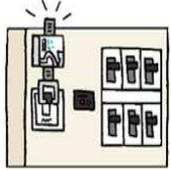
地震の揺れを感知して、  
自動的に電気を止める装置です。



## こんなご家庭に特におすすめ

- ・高齢者のみ在宅・日中不在が多い
- ・ストーブ等の暖房器具を常に使用している
- ・家具が固定されていない

### 感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
 <p>感震センサー</p>			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断
約5～8万円 （標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事不要

## 「もしも」の時に、火を出さない備えを

感震ブレーカーは自分の家だけでなく、地域全体を守る対策です。  
この機会にご家庭での設置をご検討ください。